



鹿児島県内経済情勢報告

令和8年4月

財務省九州財務局
鹿児島財務事務所



(問い合わせ先)

九州財務局 鹿児島財務事務所 財務課


TEL 099-226-6155

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/kagoshima/>

1. 総論

【総括判断】「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

| 項目 | 前回（8年1月判断） | 今回（8年4月判断） | 前回比較 |
|------|-------------|---------------------|---|
| 総括判断 | 緩やかに回復しつつある | 回復に向けたテンポが緩やかになっている |  |

（注）8年4月判断は、前回8年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、回復に向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、一部において持ち直しの動きがみられるものの、弱含んでいる。雇用情勢は、横ばいの状況にある。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（8年1月判断） | 今回（8年4月判断） | 前回比較 |
|----|------------|------------|------|
|----|------------|------------|------|

| | | | |
|------|-------------|---------------------|---|
| 個人消費 | 緩やかに回復しつつある | 回復に向けたテンポが緩やかになっている |  |
| 生産活動 | 弱含んでいる | 弱含んでいる |  |
| 雇用情勢 | 弱い動きとなっている | 横ばいの状況にある |  |

| | | | |
|------|-----------|-----------|---|
| 設備投資 | 7年度は増加見込み | 7年度は増加見込み |  |
| 企業収益 | 7年度は増益見込み | 7年度は増益見込み |  |
| 住宅建設 | 前年を下回っている | 前年を下回っている |  |

【先行き】

先行きについては、所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、中東情勢、物価動向、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「回復に向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売は、節約志向の高まりなどから、回復に向けたテンポが緩やかになっている。コンビニエンスストア販売は、来店客数の落ち着きなどにより、回復の動きに一服感がみられる。ドラッグストア販売は、堅調となっている。家電大型専門店販売は、持ち直しつつある。乗用車の新車登録・届出台数は、受注に落ち着きがみられることから、横ばいの状況にある。宿泊者数及び主要観光施設入場者数は、自治体の助成事業の効果などにより国内観光客を中心に持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 節約志向の高まりから、衣料品などで買い控えの動きが継続しているものの、食品催事では積極的な消費行動がみられる。また、渡航自粛が続く中国人客減少の影響により、高価格帯商品については落ち込みがみられる。(百貨店・スーパー)
- 買上点数が減少しているうえ、比較的安価なプライベートブランド商品の人気が高まっている。(百貨店・スーパー)
- 来店客数の落ち着きにより、売上げの伸びが緩やかな状況。足下では花見などの行楽需要の高まりから、サンドイッチや揚げ物類など手軽に持ち運べる商品がよく売れている。(コンビニエンスストア)
- 春先の気温上昇に伴い、花粉症対策商品や制汗・UV対策商品の需要が高まっている。また、食料品の取扱いを増やしたことにより「ついで買い」がみられ、買上点数が伸びている。(ドラッグストア)
- メモリ半導体不足の懸念を背景としたパソコン需要については、落ち着きがみられる。エアコンについては、2027年度の省エネ基準強化前の駆け込み需要により、今後も堅調に推移する見込みである。(家電大型専門店)
- コンパクトカーを中心に受注は堅調であるものの、高価格帯の人気車種などでは落ち着きがみられる。また、購入時に発生する諸経費の一部が4月から免除された影響で、年度末にかけて新車登録・届出台数が伸び悩んだ。(自動車販売店)
- インバウンドについては、直行便が増便した韓国からの観光客が増加したため、中国における日本への渡航自粛の影響は限定的である。(調査機関)
- 春休み中の学生の団体客、韓国人客などで賑わいをみせており、回復基調となっている。(県内観光施設)
- 奄美地区について、スポーツチームによる合宿などにより、一時的に宿泊施設の不足感がみられた。リゾート需要については穏やかな動きとなっている。(一般社団法人)
- 自治体の宿泊割引キャンペーンなどを利用して、鹿児島へ宿泊する国内客が増加した。特に、九州域内からの宿泊が好調であった。(旅行代理店)

■ 生産活動 「弱含んでいる」

主な業種をみると、食料品工業は、一進一退の状況にある。電子部品・デバイス工業は、一部において受注回復の動きがみられるものの、持ち直しの動きに一服感がみられる。窯業・土石製品工業は、横ばいの状況にある。

- 種付け不良による仕入頭数の減少や、飼料価格の上昇に伴う仕入価格交渉の増加がみられているなか、工場の稼働率については昨年並みを維持している。(食料品)
- 米などの原料が入手困難な状況が続いていることから、焼酎の生産量は減少傾向にある。一方で、最近では都市圏を中心とした需要の増加がみられ、県外への出荷量は前年を上回っている。(食料品等業界団体)
- 電子部品の生産量に大きな変動はないが、半導体関連ではAI向け高単価製品に受注回復の動きがみられ、先行きについても改善が期待される。また、半導体製造装置関連市場の回復に伴い、受注増加も見込まれている。(電子部品・デバイス)
- 年度末に向けて公共工事の受注が増加している。一方で、砂利などの原材料価格については高止まりしている。(窯業・土石製品)

■ 雇用情勢 「横ばいの状況にある」

有効求人倍率は横ばいの状況にあるものの、求人の動きは幅広い業種で鈍い動きが続いている。

- 求人について、製造業の一部に改善の兆しがみられるものの、賃金上昇や省人化投資に加え、スポットワーク等の活用も進み全体としては減少傾向にある。(公的機関)
- 人件費抑制のため新規採用を抑制する一方で、人手不足の部署については派遣社員等で柔軟に対応している。(小売)
- 運転手が慢性的に不足しており、一部に減便やルートの変更等が発生している。外国人の採用にも取り組んでいるが、大きな解決には至っていない。(陸運)

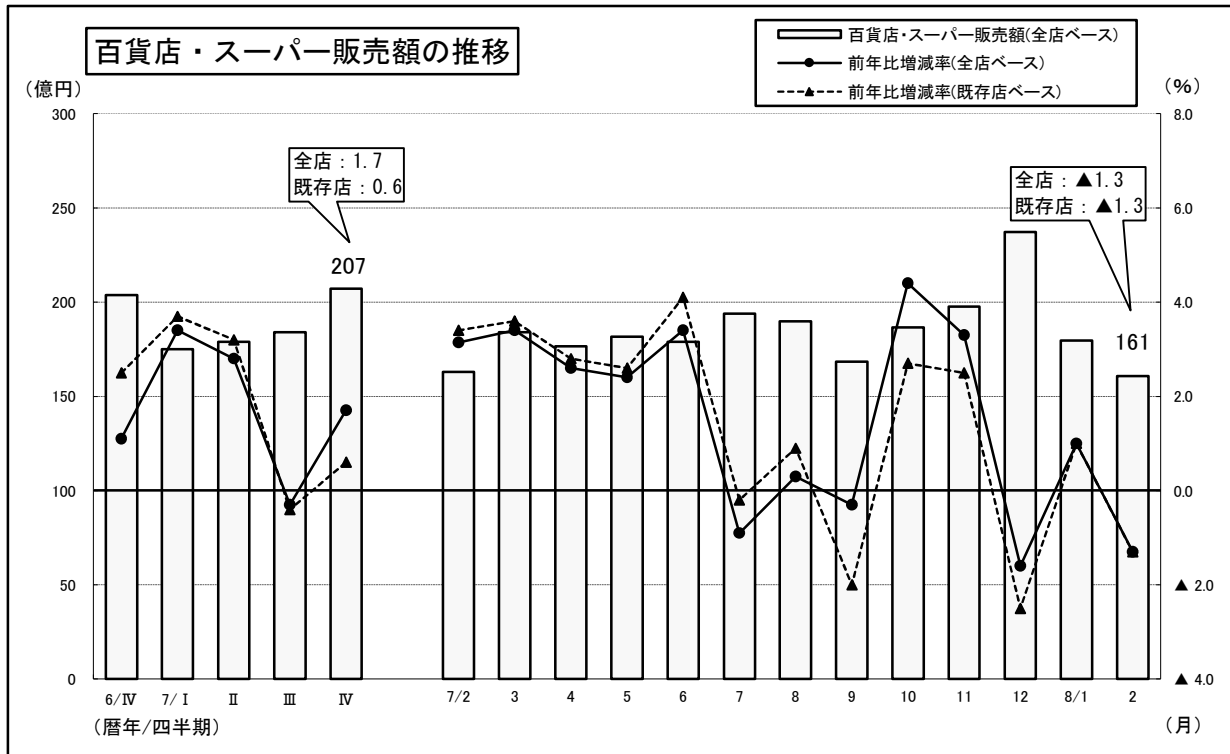
- 設備投資 「7年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期
 - 製造業、非製造業ともに増加見込みとなっている。
- 企業収益 「7年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期
 - 製造業では減益見込み、非製造業では増益見込みとなっている。
- 住宅建設 「前年を下回っている」
 - 新設住宅着工戸数(7年12月-8年2月)は、前年を下回っている。
- 企業の景況感 「現状判断は『上昇』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年1-3月期
 - 8年1-3月期の景況判断BSIをみると、全産業では「上昇」超となっている。
先行きをみると、8年4-6月期は「下降」超の見通しとなっている。
- 公共事業
 - 公共工事前払金保証統計の請負金額(7年4月-8年2月累計)は、前年度を上回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(8年1-3月期)は、件数は前年を上回っているものの、負債総額は前年を下回っている。

【参 考 資 料】

| | |
|-----------------|------|
| 1. 個人消費 | 参-1 |
| 2. 生産活動 | 参-4 |
| 3. 雇用情勢 | 参-6 |
| 4. 設備投資 | 参-7 |
| 5. 企業収益 | 参-8 |
| 6. 住宅建設 | 参-9 |
| 7. 企業の景況感 | 参-10 |
| 8. 公共事業 | 参-11 |
| 9. 倒産 | 参-12 |

1. 個人消費

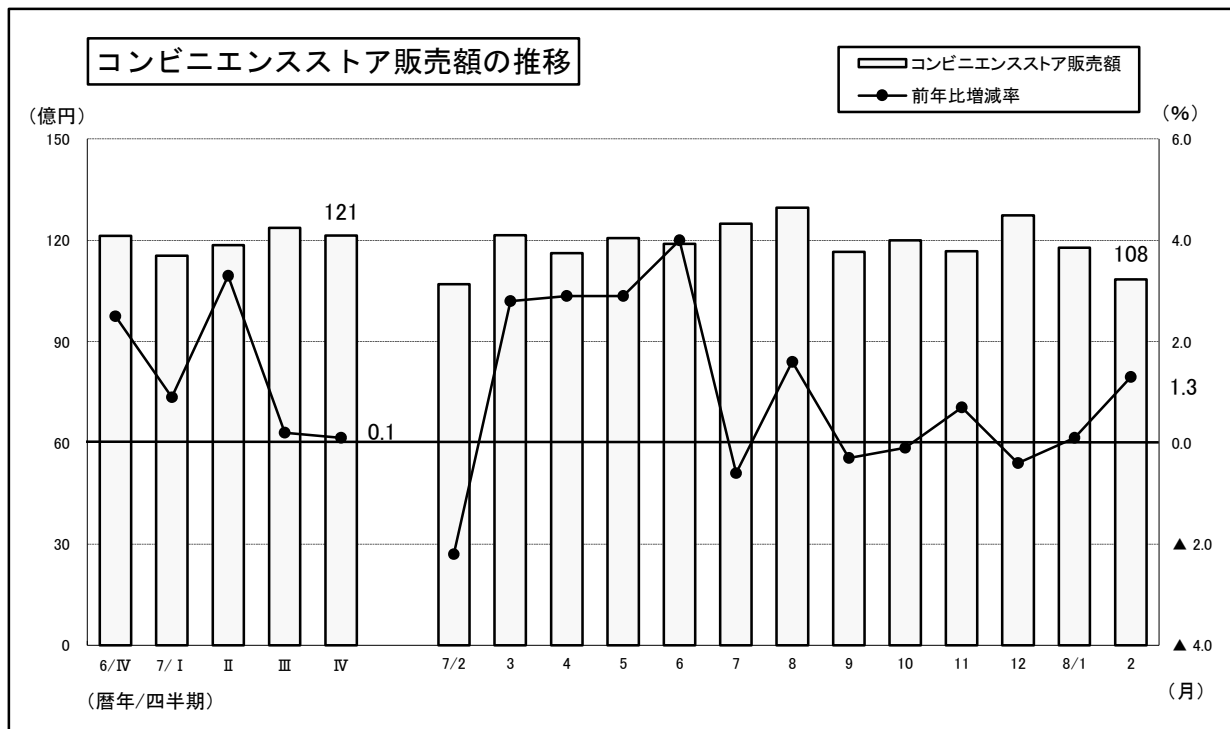
資料1



注：四半期の棒グラフは月平均。8年2月は速報値。

(資料：経済産業省)

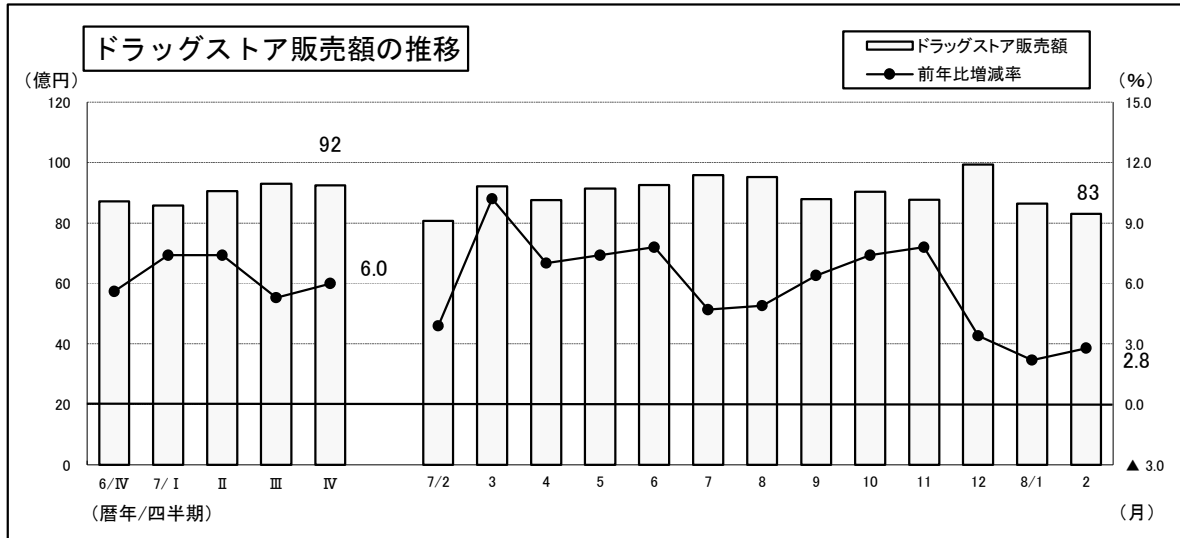
資料2



注：四半期の棒グラフは月平均。8年2月は速報値。

(資料：経済産業省)

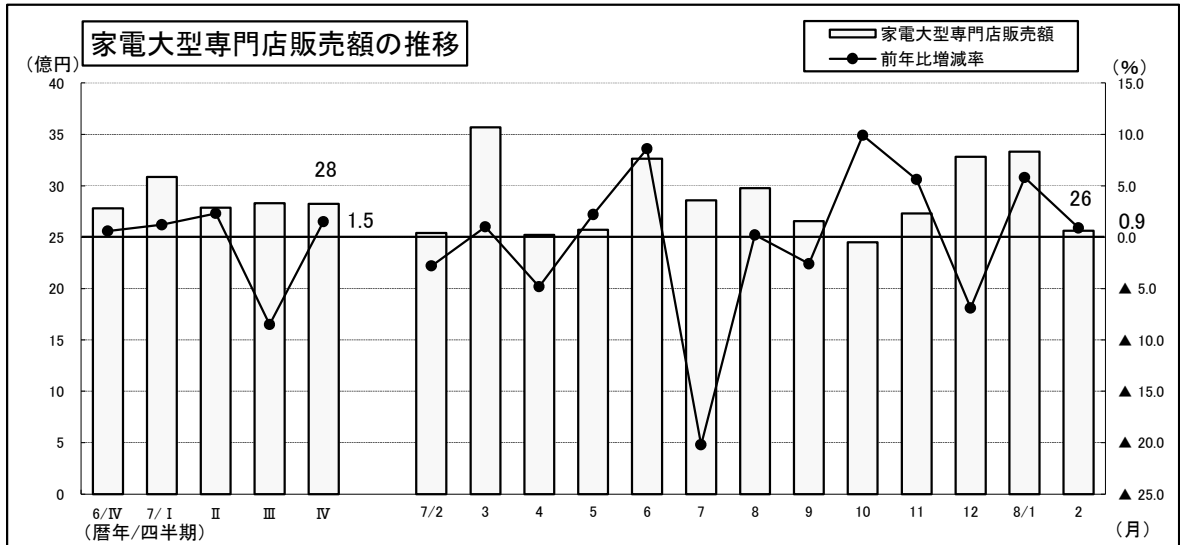
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。8年2月は速報値。

(資料：経済産業省)

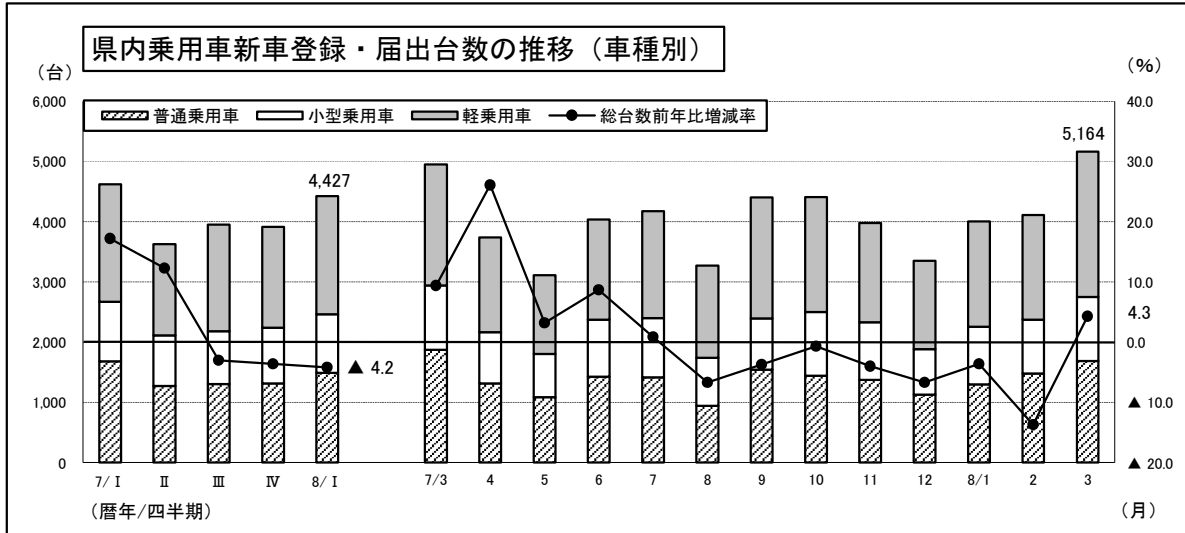
資料4



注：四半期の棒グラフは月平均。8年2月は速報値。

(資料：経済産業省)

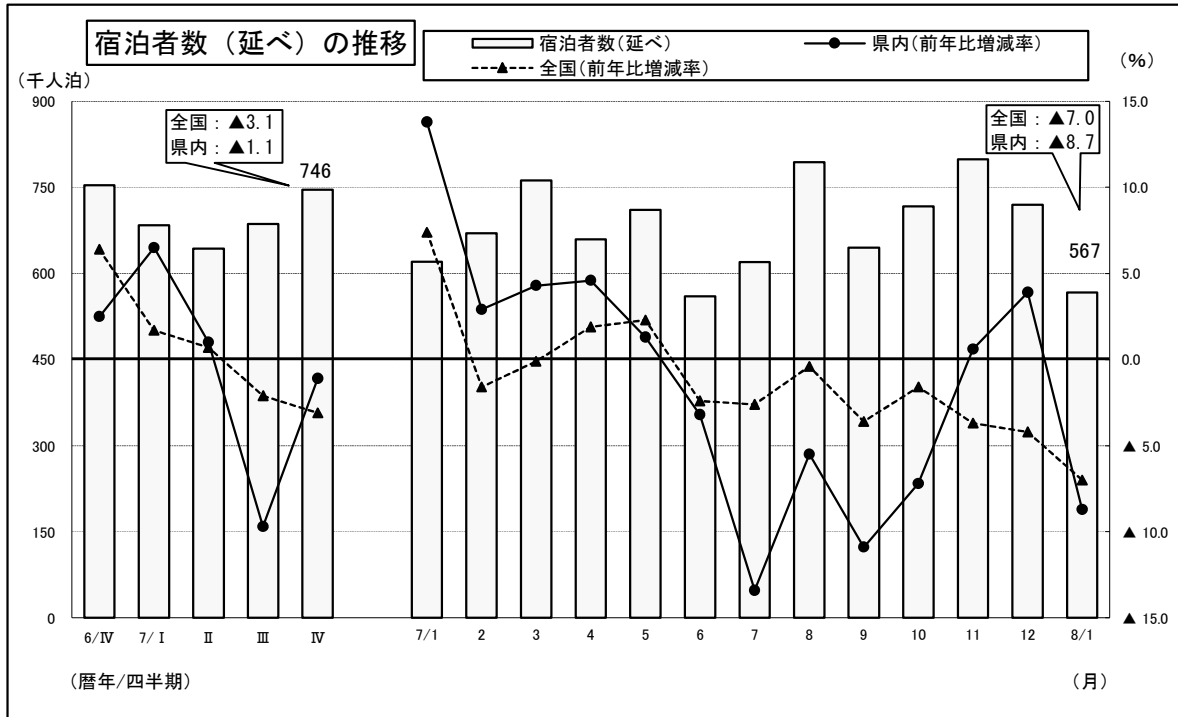
資料5



注：四半期の棒グラフは月平均。8年3月は速報値。

(資料：日本自動車販売協会連合会、国土交通省、全国軽自動車協会連合会)

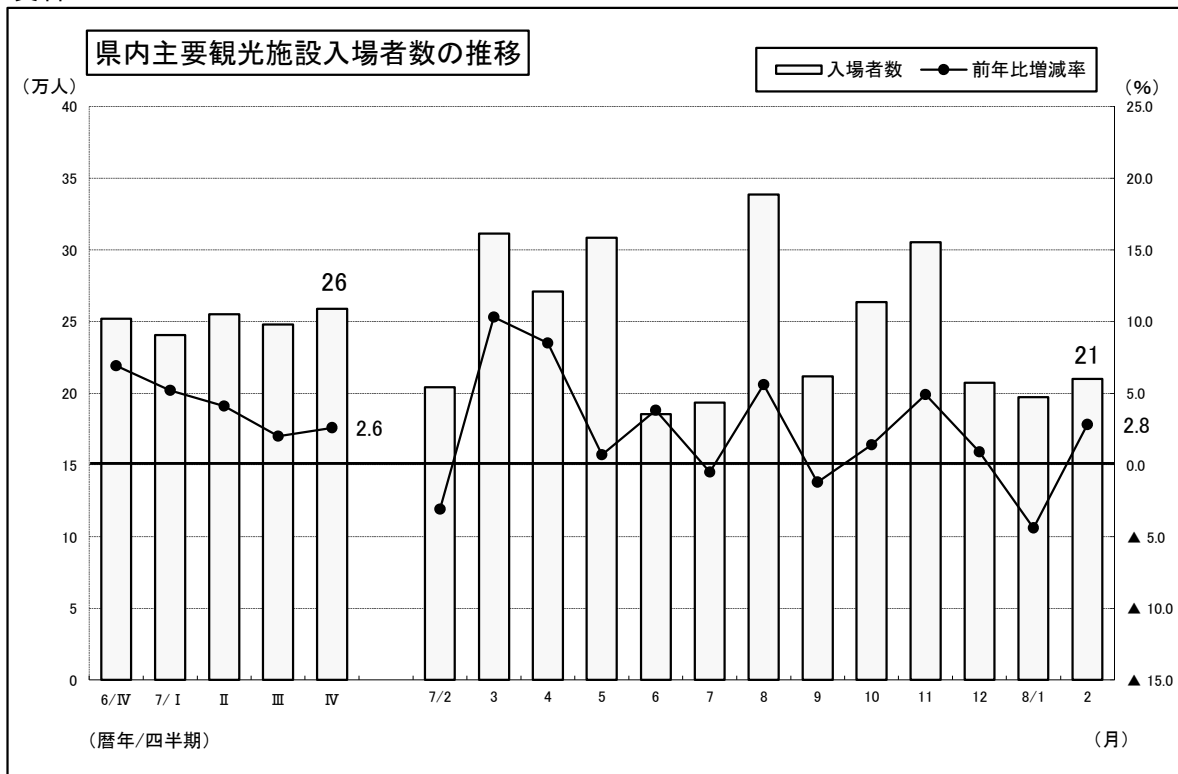
資料6



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：観光庁)

資料7

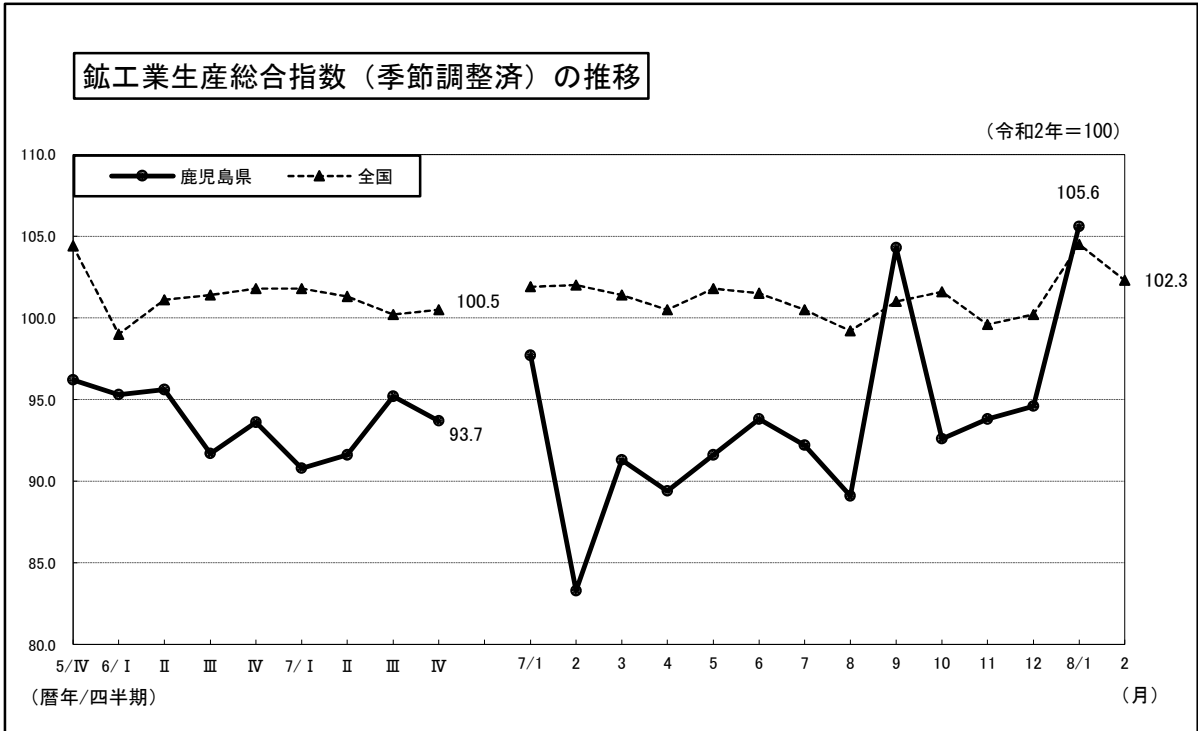


注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：県内主要14観光施設)

2. 生産活動

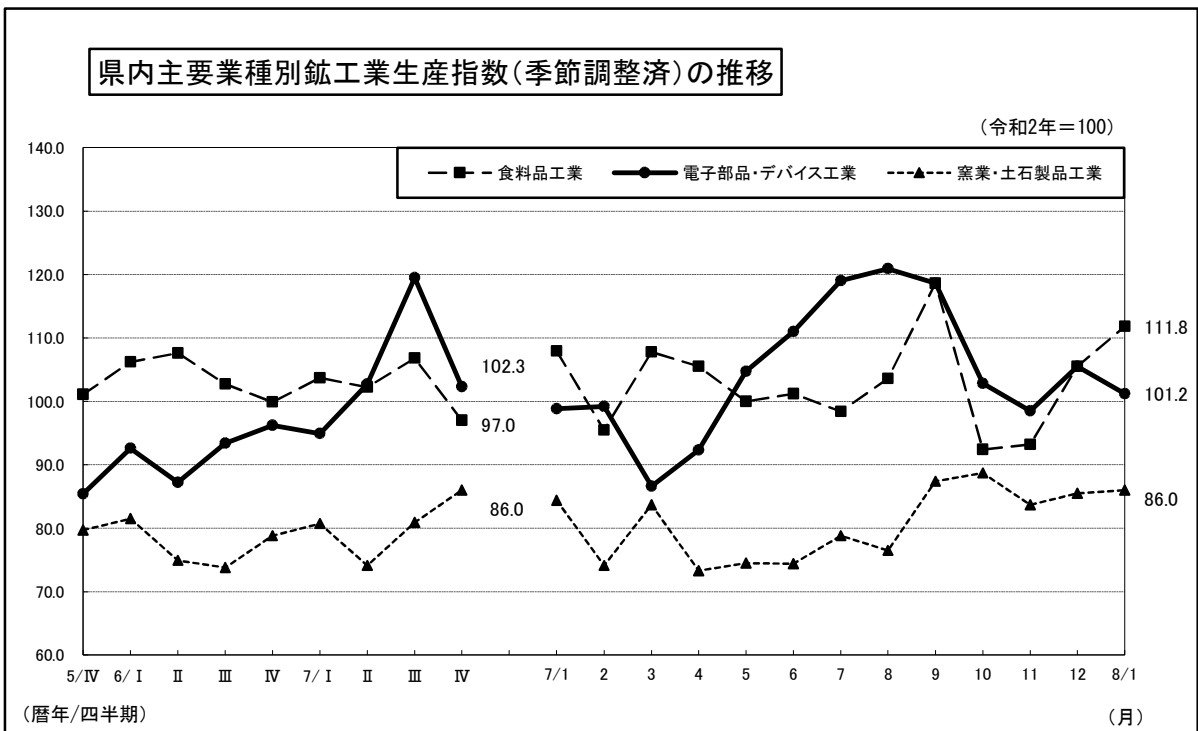
資料8



注：鹿児島県の8年1月及び全国の8年2月は速報値。

(資料：経済産業省、鹿児島県)

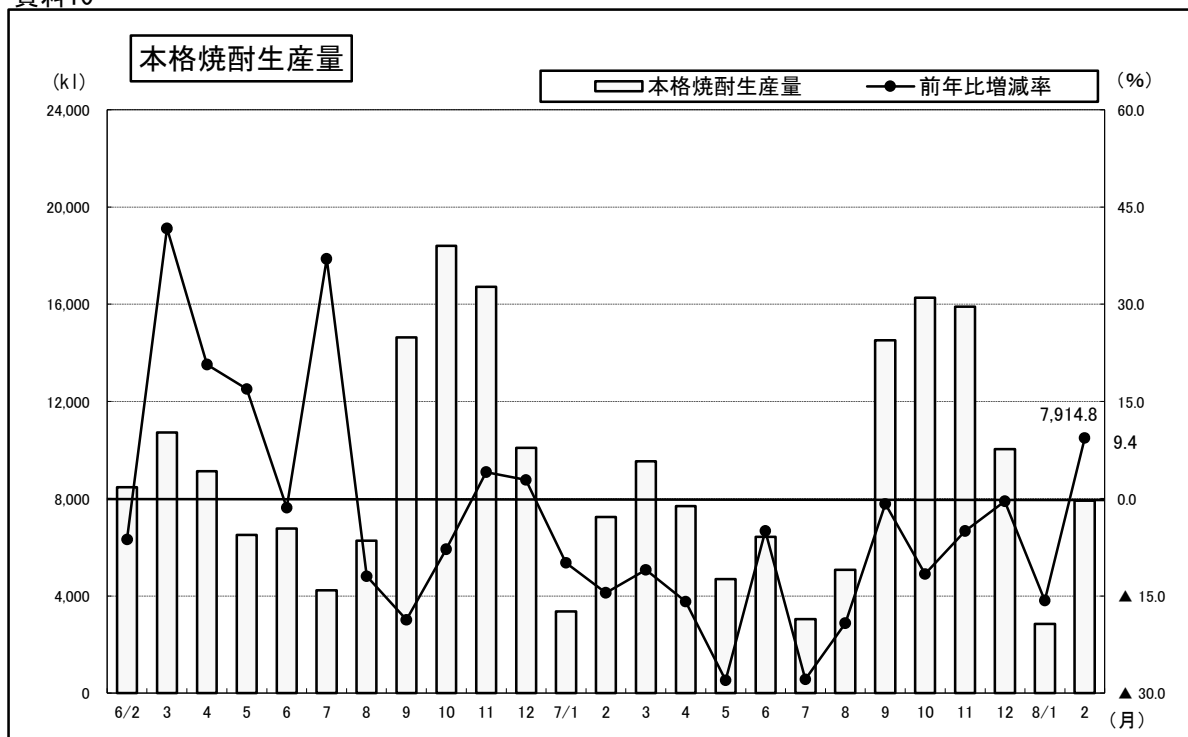
資料9



注：8年1月は速報値。

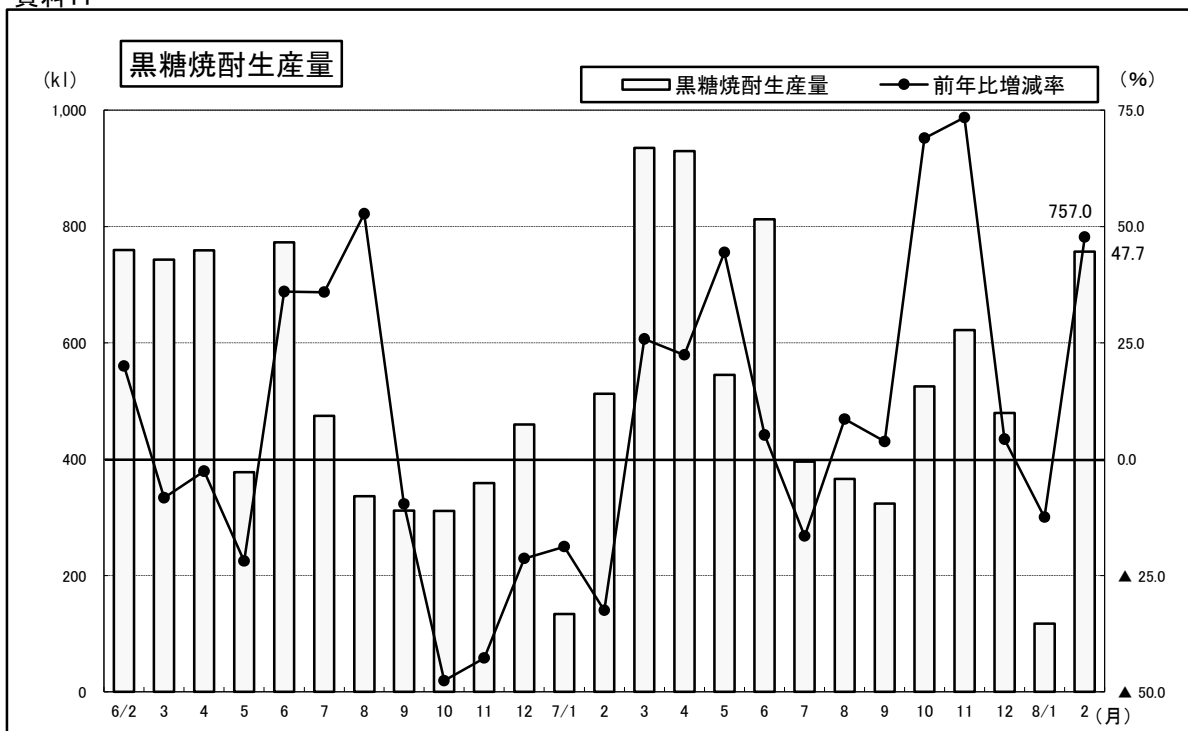
(資料：鹿児島県)

資料10



(資料：鹿児島県酒造組合)

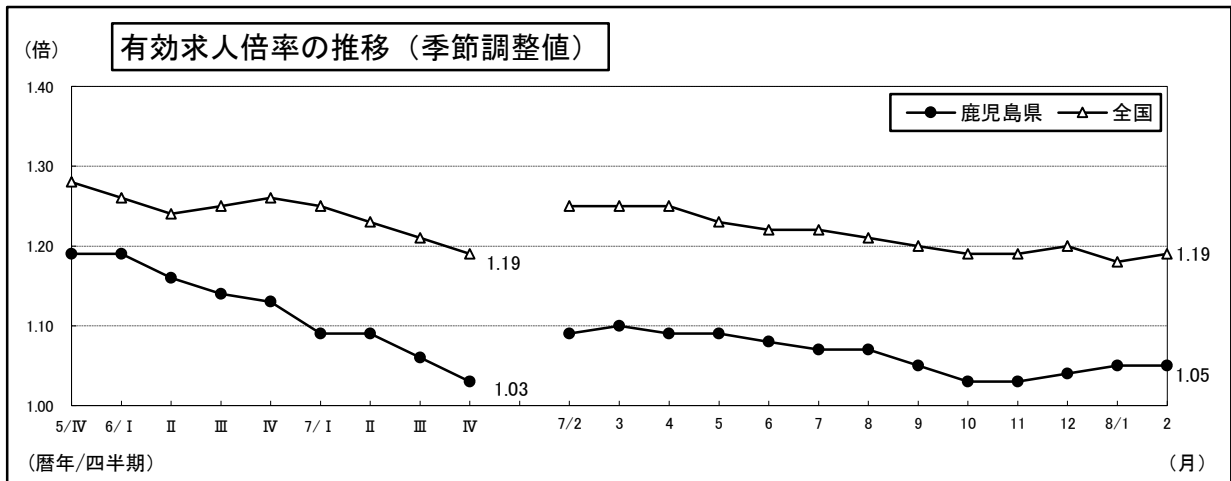
資料11



(資料：鹿児島県酒造組合)

3. 雇用情勢

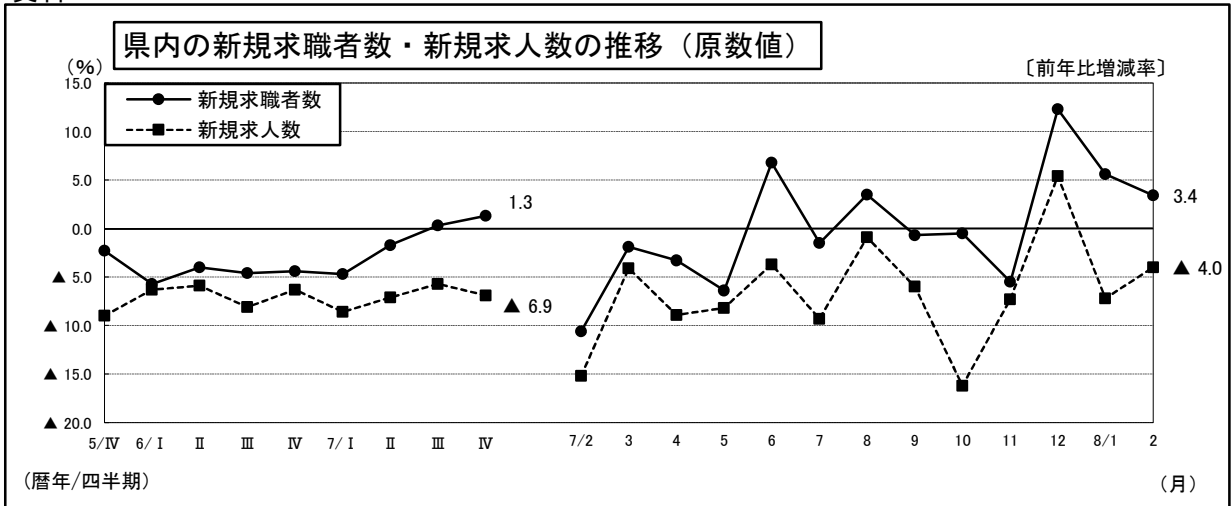
資料12



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

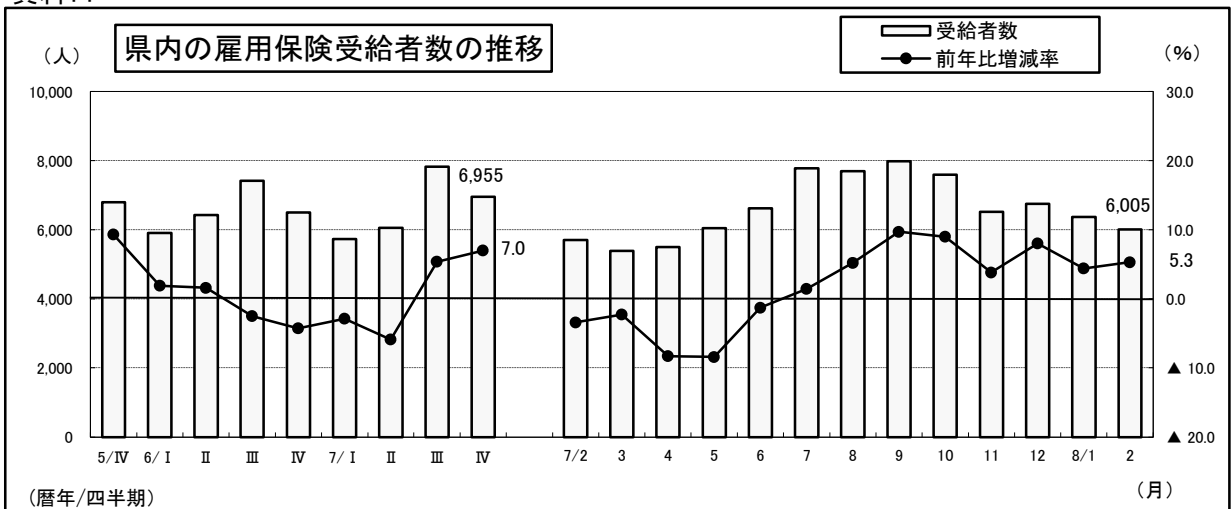
資料13



注：パートを含む。

（資料：厚生労働省）

資料14

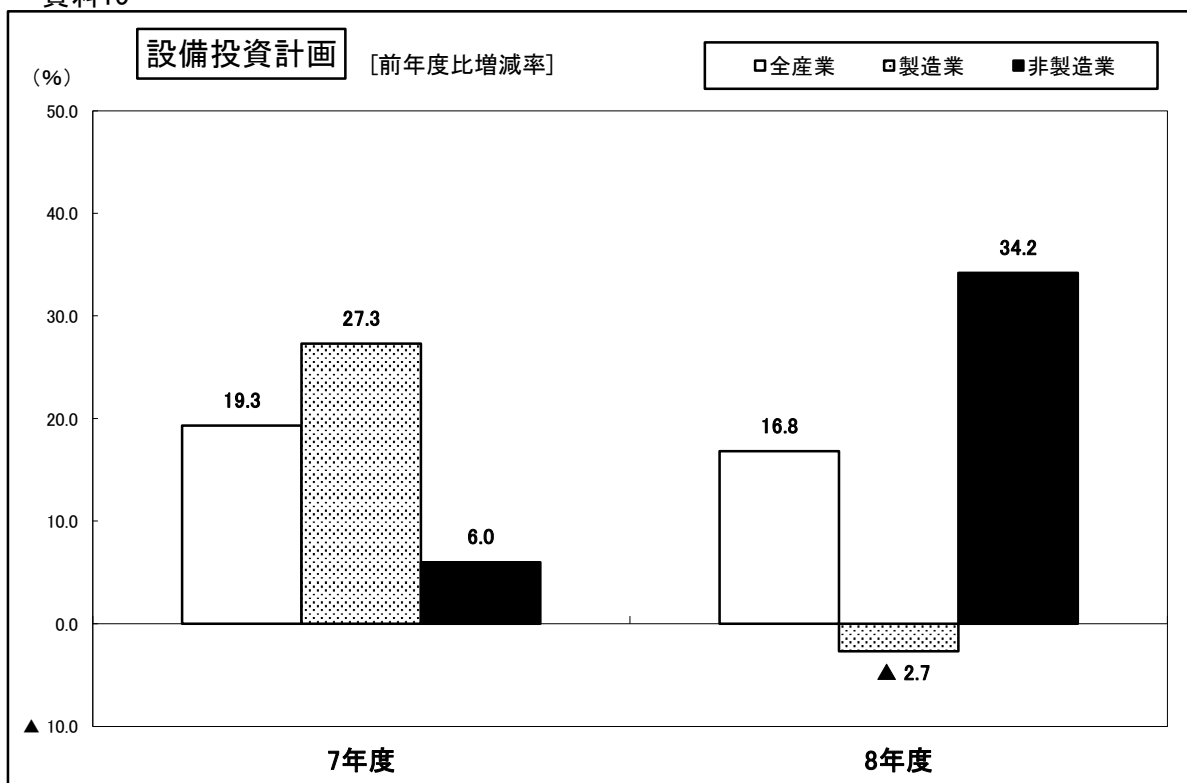


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

（資料：厚生労働省）

4. 設備投資

資料15



設備投資[前年度比増減率]

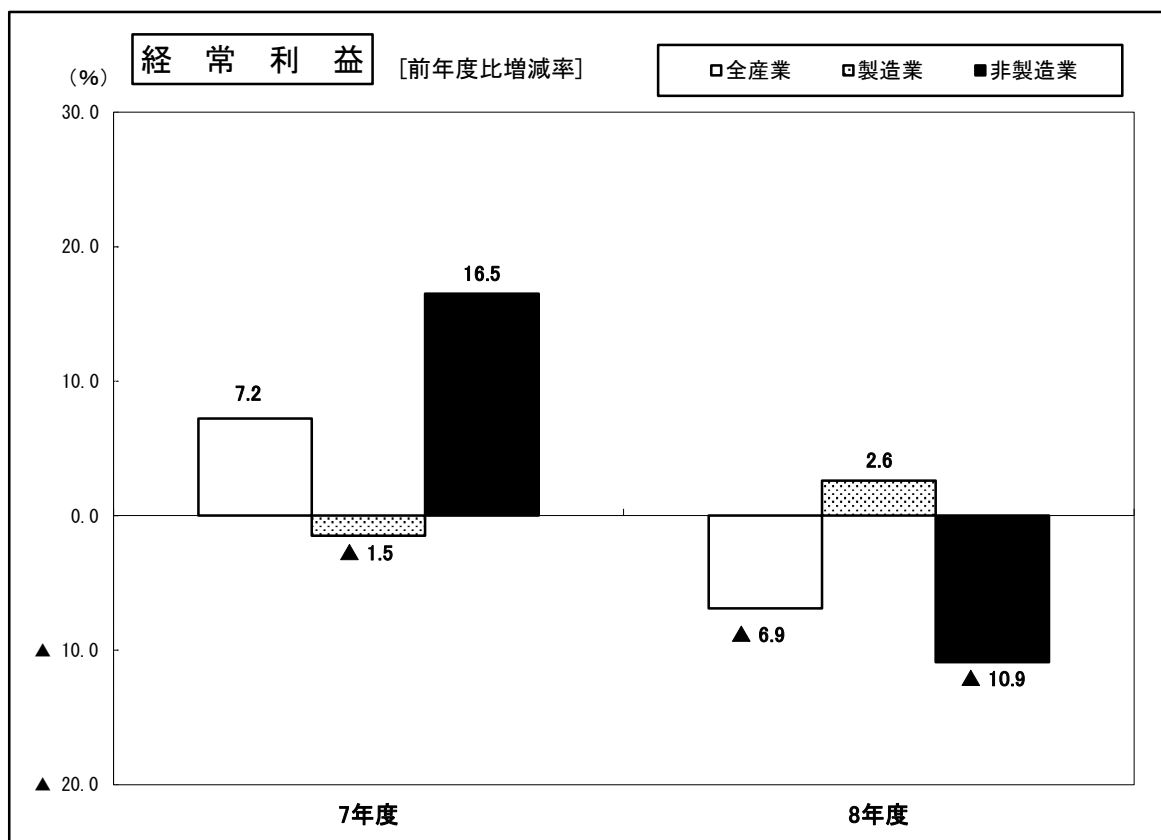
(単位：社、%)

| | 回答 企業数 | 7年度 | 回答 企業数 | 8年度 |
|------|-----------|------|-----------|--------|
| 全産業 | 88 | 19.3 | 83 | 16.8 |
| 製造業 | 18 | 27.3 | 15 | ▲ 2.7 |
| 非製造業 | 70 | 6.0 | 68 | 34.2 |
| 大企業 | 19 | 16.4 | 17 | 23.4 |
| 中堅企業 | 27 | 64.3 | 26 | ▲ 10.4 |
| 中小企業 | 42 | 1.5 | 40 | 8.2 |

(資料：鹿児島財務事務所(法人企業景気予測調査))

5. 企業収益

資料16



経常利益 [前年度比増減率]

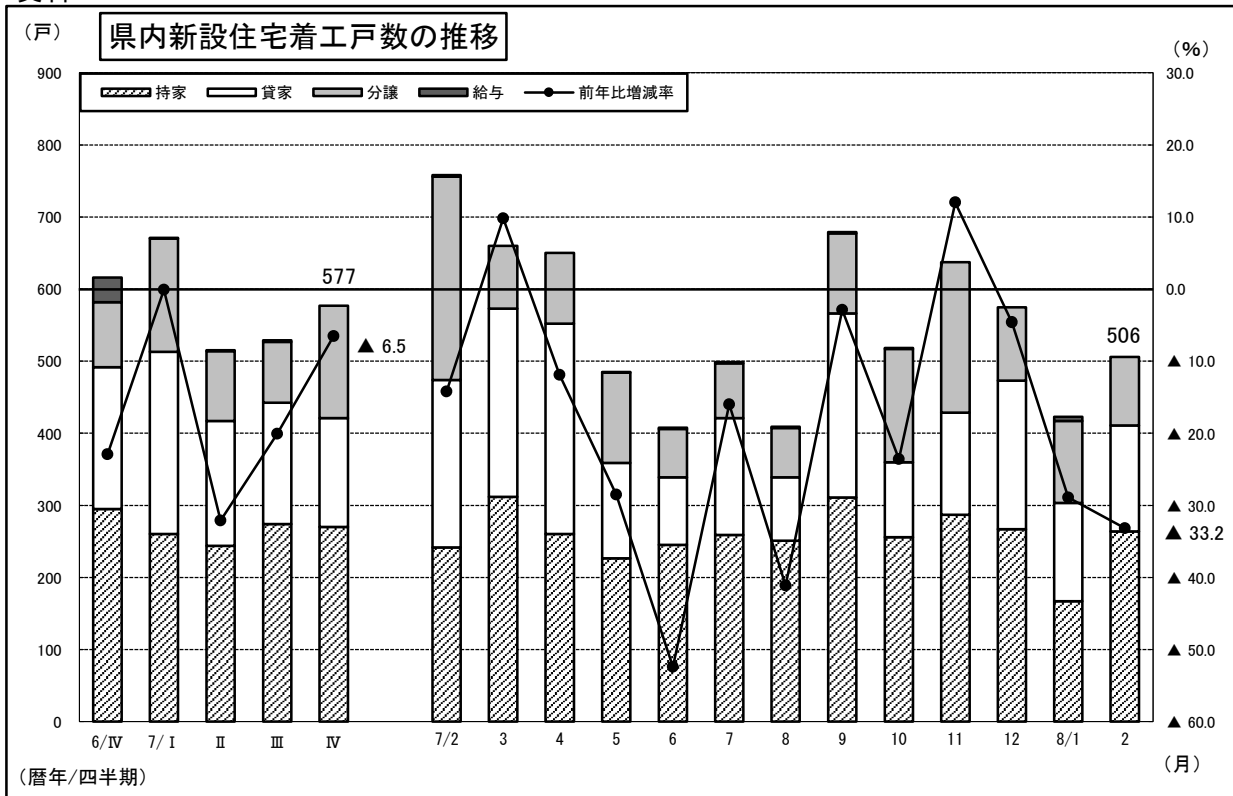
(単位：社、%)

| | 回答 企業数 | 7年度 | 回答 企業数 | 8年度 |
|------|-----------|-------|-----------|--------|
| 全産業 | 79 | 7.2 | 71 | ▲ 6.9 |
| 製造業 | 18 | ▲ 1.5 | 16 | 2.6 |
| 非製造業 | 61 | 16.5 | 55 | ▲ 10.9 |
| 大企業 | 12 | 8.8 | 10 | ▲ 10.7 |
| 中堅企業 | 25 | 8.1 | 23 | ▲ 10.3 |
| 中小企業 | 42 | ▲ 4.0 | 38 | 10.7 |

(資料：鹿児島財務事務所 (法人企業景気予測調査))

6. 住宅建設

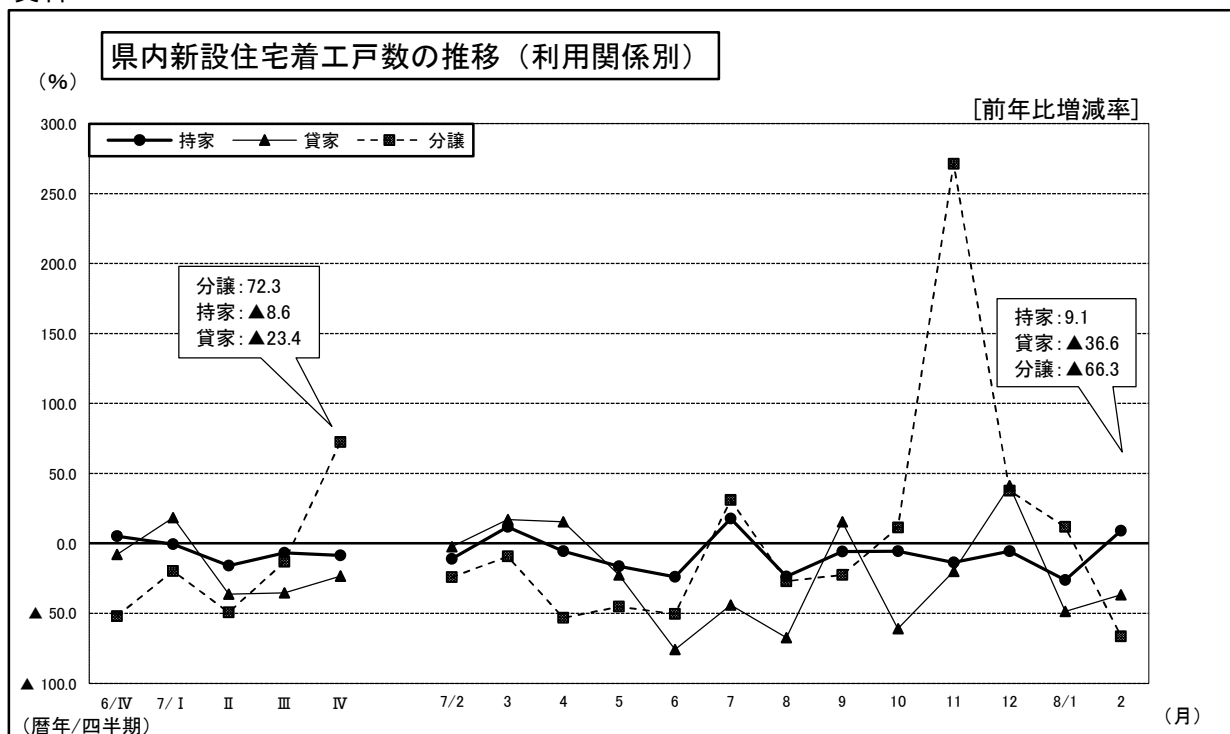
資料17



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：国土交通省)

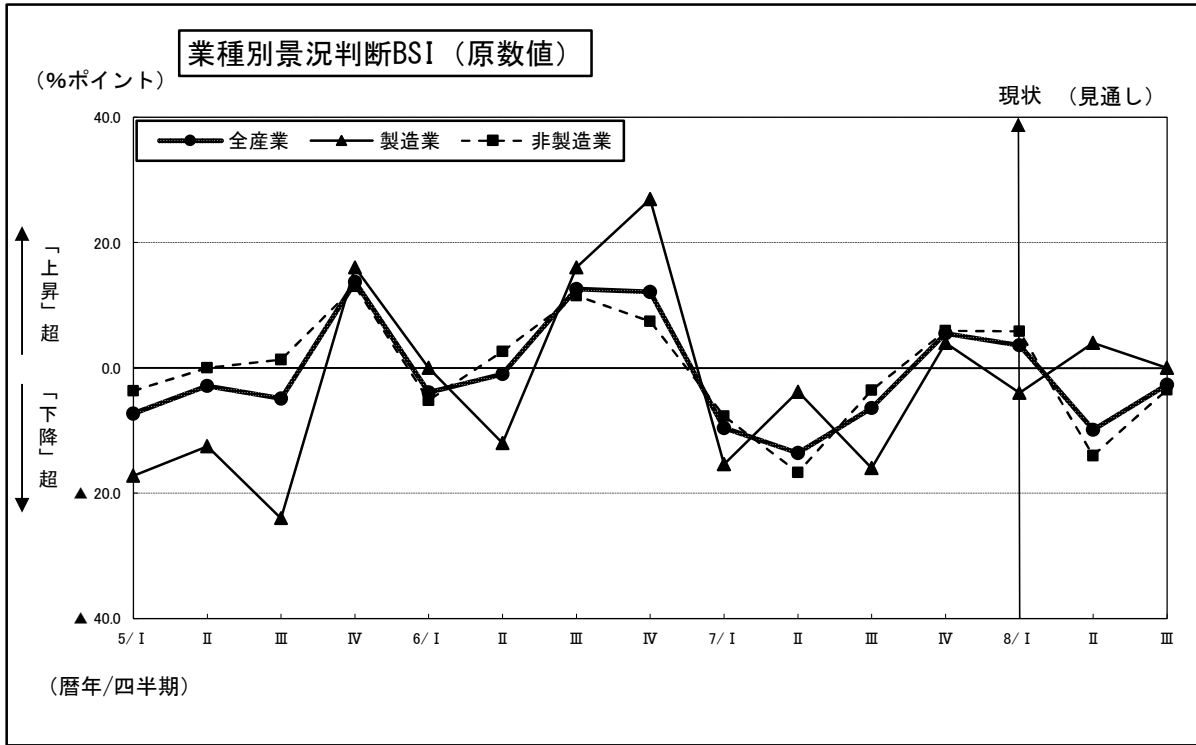
資料18



(資料：国土交通省)

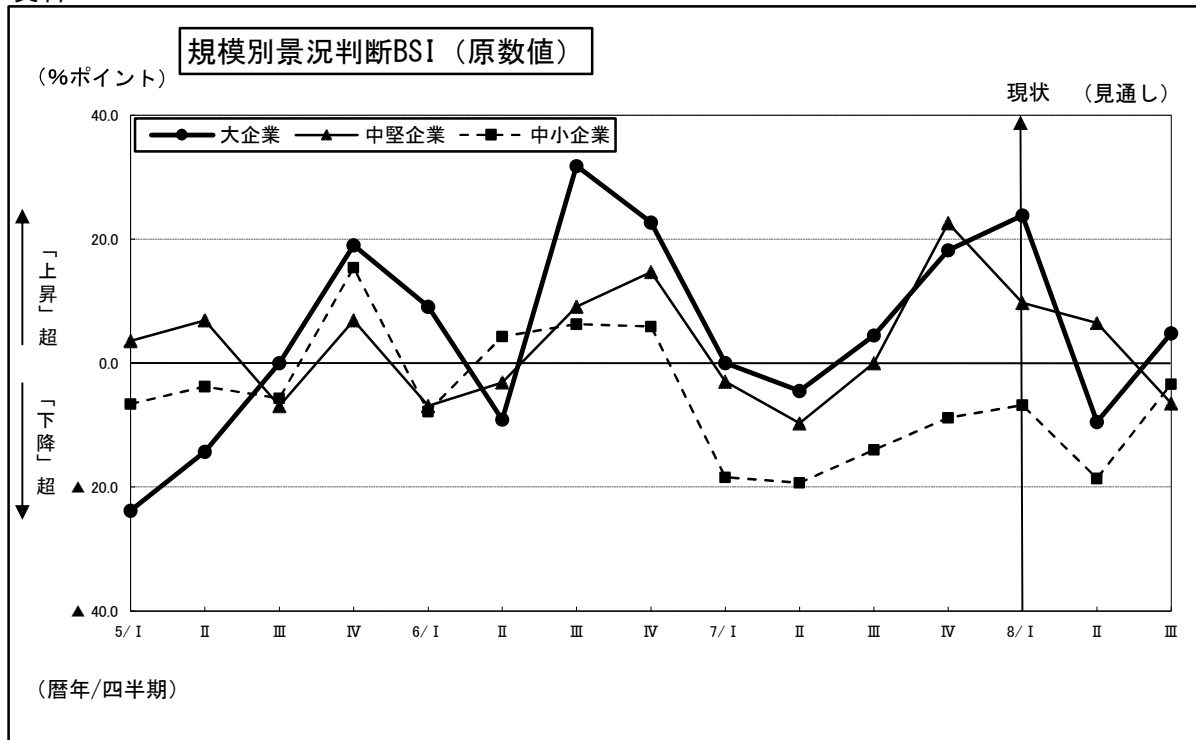
7. 企業の景況感

資料19



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

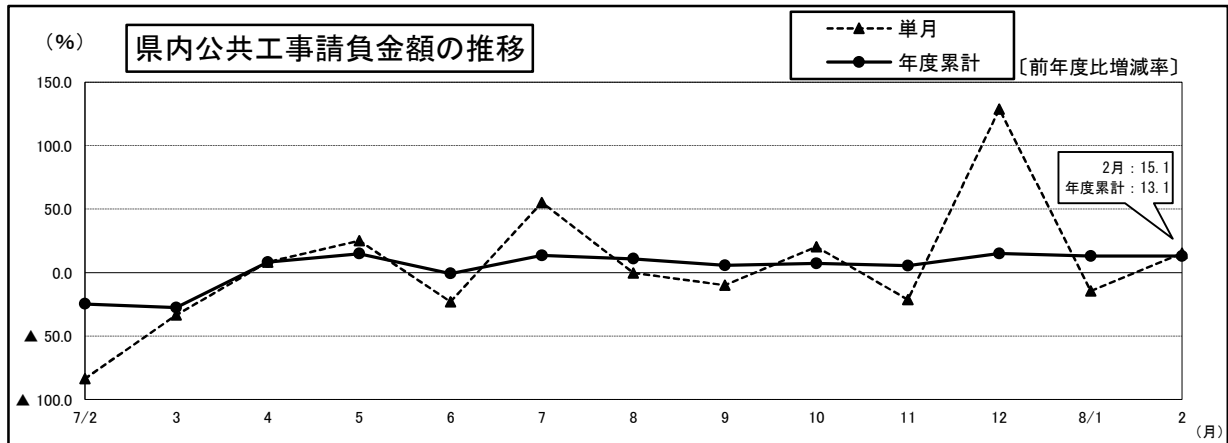
資料20



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

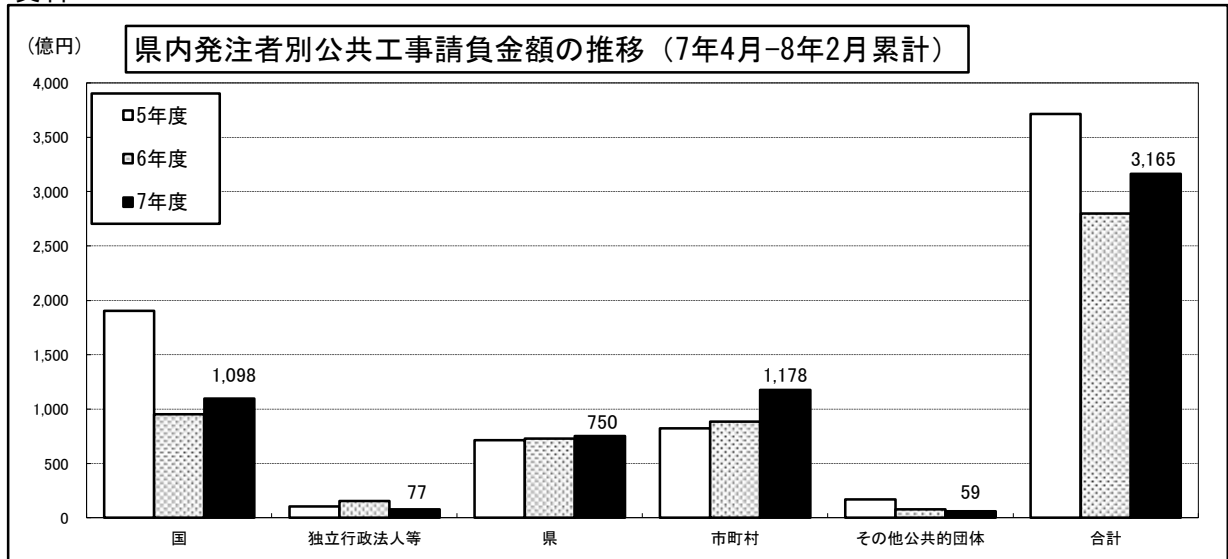
8. 公共事業

資料21



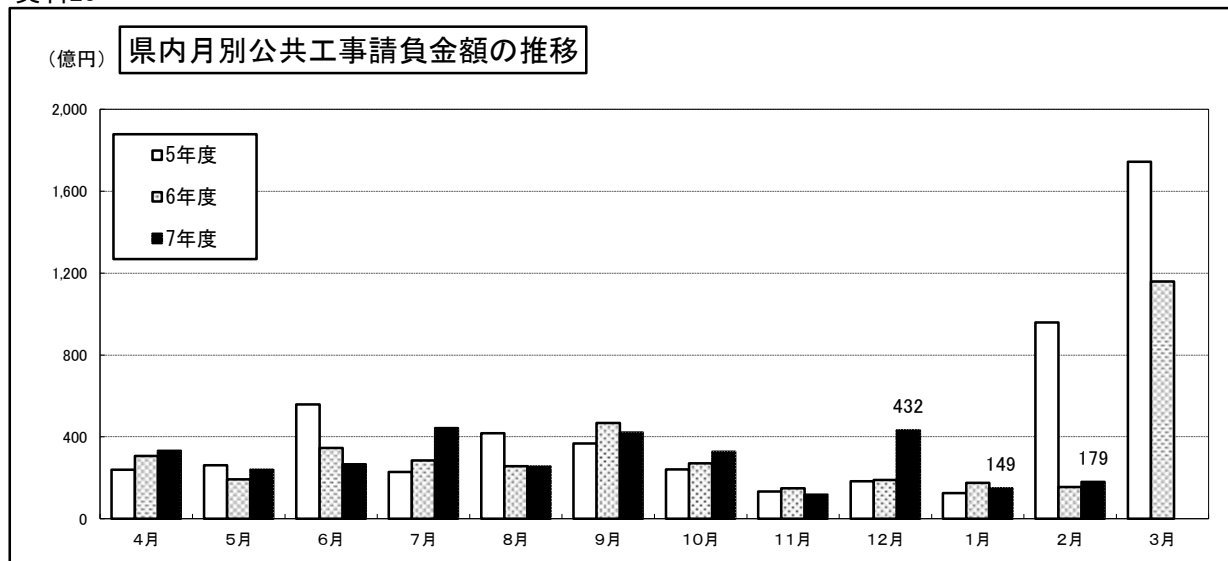
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料22



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

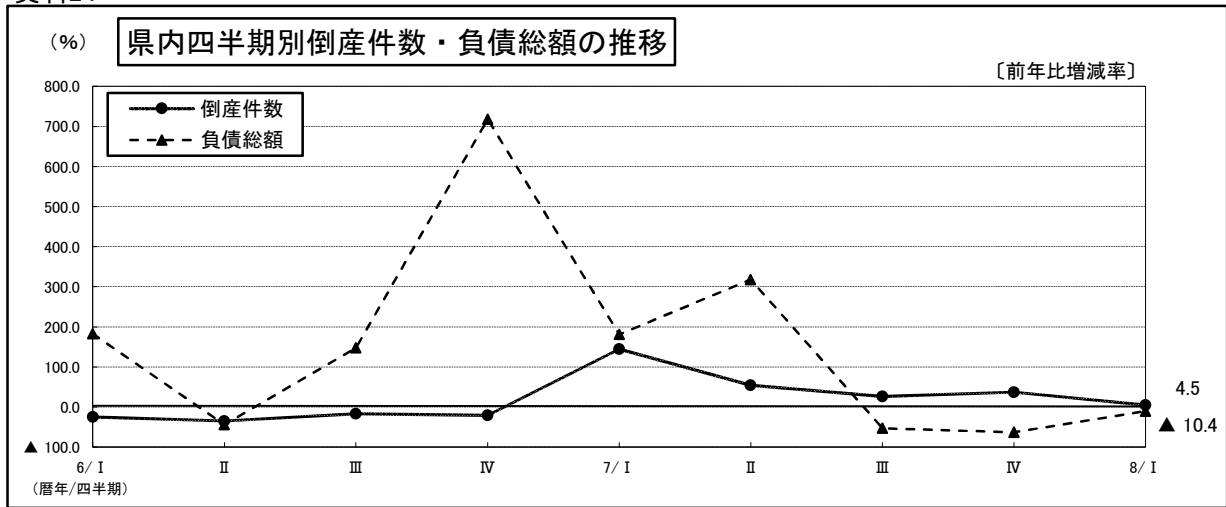
資料23



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

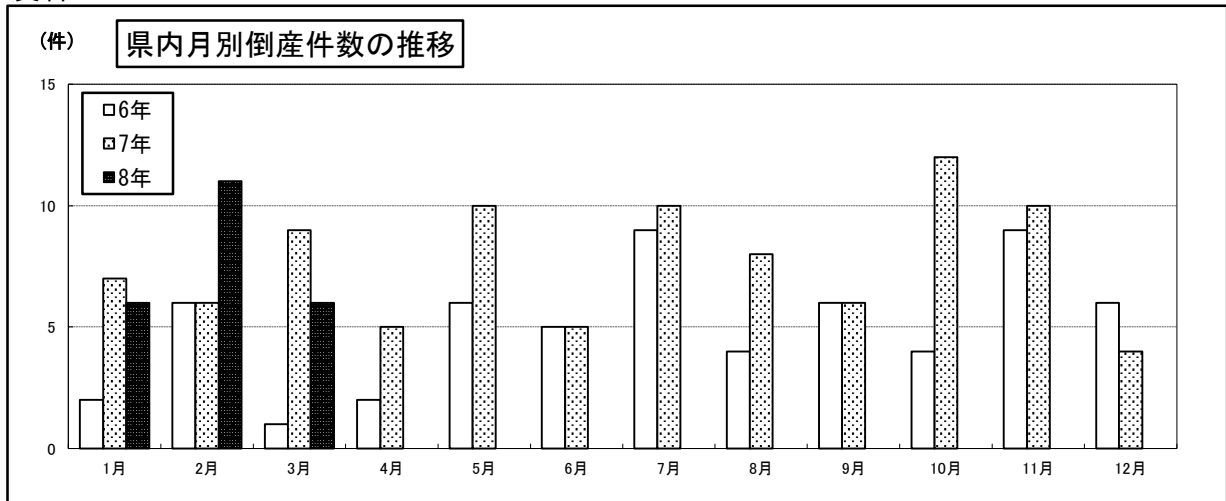
9. 倒産

資料24



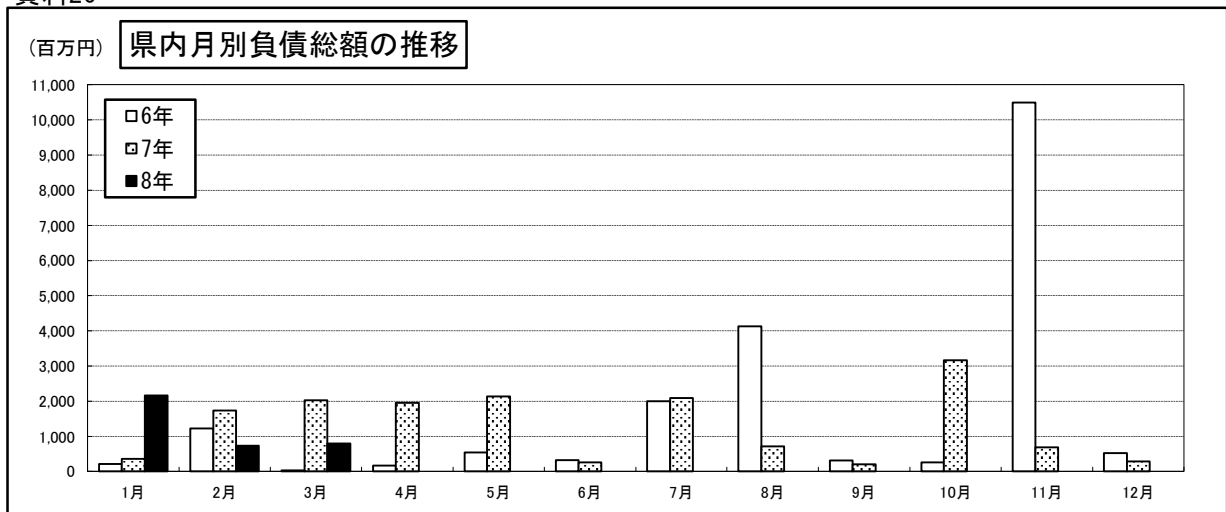
(資料：東京商工リサーチ)

資料25



(資料：東京商工リサーチ)

資料26



(資料：東京商工リサーチ)